

歸脾湯・酸棗仁

藥局文獻檢索資料

1999. 7. 5

帰脾湯が奏効したと考えられる慢性ITPの1小児例

若園 明裕

生薬：
成分：
処方：帰脾湯

雑誌名：現代東洋医学 12巻 1991年 3号 131頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：感染・免疫系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：症例報告：慢性ITP[s58生、女]ステロイド、 γ -グロブリンなど種々の治療法に抵抗した慢性ITPに対して帰脾湯を投与した結果、4ヶ月目には血小板が増加し症状の軽快をみた。

「返品」：副作用情報50

生薬：
成分：
処方：帰脾湯

雑誌名：東医研データ 巻 1989年 ***号 ***頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：心臓・循環器系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：ヘルベッサー

内容：高血圧[s3.9.26、女]：上記処方後、口渇発現。1/2補中益気湯に変更後は、改善した。(広田)

小児、血液疾患の漢方療法

鶴田 光敏

生薬：人參
成分：
処方：帰脾湯、加味帰脾湯

雑誌名：現代東洋医学 12巻 1991年 4号 20頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：感染・免疫系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：5.00g/day

併用薬：

内容：小児、血液疾患に漢方薬の併用が有効である事が報告された。
参照；白血病に関して①免疫増強作用：A.Meta dt al:Biomedicine 31, 223(1979).②抗腫瘍性物質：薬用人参(コウジン)中の抗腫瘍性物質第42回日本東洋医学会学術総会講演要旨集、66(1992)

慢性型特発性減少性紫斑病に対する帰脾湯の一長期投与例(続報)

近藤 久

生薬：
成分：
処方：帰脾湯

雑誌名：漢方診療 9巻 1990年 5号 57頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：感染・免疫系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：7.50g/day

併用薬：

内容：症例報告：小児ITP[5歳、女]ステロイド剤、免疫抑制剤、 γ -グロブリンの治療効果が一過性であった慢性型ITPに対し帰脾湯を投与した結果出血症状も認めず、又治療効果においても、その有用性が認められた。

副作用等で治療困難となった再生不良性貧血と帰脾湯加減

斎藤 隆

生薬:

成分:

処方: 帰脾湯、加味帰脾湯

雑誌名: 現代東洋医学 12巻 1991年 ***号 154頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 血液

剤形: 煎剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬: リンデロン、プリモボランデポー

内容: 症例報告: 再生不良性貧血 (S6生、男) 小柴胡湯合桂枝茯苓丸が無効であった為、加味帰脾湯を投与した結果、1-2ヶ月目には血小板が増加し始めリンデロンの減量速度を速める事が出来た。
参照: 難病、難症の漢方療法第4集 (臨時増刊号)

(参考) 加味帰脾湯

加味帰脾湯の併用により維持療法が可能となった特発性血小板減少性紫斑病の一例 -奥新 浩晃-

生薬:
成分:
処方: 加味帰脾湯

雑誌名: 漢方診療 9巻 1990年 5号 24頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 感染・免疫系
剤形: 煎剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬:

内容: 症例報告: 特発性減少性紫斑病[53歳、女]①加味帰脾湯を併用投与した結果、副腎皮質ホルモンの減量維持療法が可能となった。②副作用は認められなかった。

鉄欠乏性貧血に対する加味帰脾湯の使用経験
-稲垣 肇-

生薬:
成分:
処方: 加味帰脾湯

雑誌名: 漢方診療 9巻 1990年 4号 51頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 血液
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: 症例報告: ①鉄欠乏性貧血に対し、加味帰脾湯を投与した結果、15/20例に自覚症状の改善及び血色素量の増加が認められた。②副作用: 認められなかった。

抑うつ、不安と漢方
-木下 徳久-

生薬:
成分:
処方: 柴胡加竜骨牡蛎湯、半夏厚朴湯、加味帰脾湯、抑肝散加陳皮半夏

雑誌名: 漢方と最新治療 1巻 1992年 2号 頁 通算 147頁

報告: 治験例 標的器官: 脳・神経系
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: ①従来の抗不安薬、抗鬱薬の持つ問題点と漢方方剤の意義②不安に対する漢方方剤の効果③抑鬱に対する漢方方剤の効果④加味帰脾湯が著効を示した抗精神薬に対する不安の強い神経症症例⑤抑うつ、不安の強い漢方治療に関する、その他の問題点

不眠と漢方療法
-川口 浩司-

生薬:
成分:
処方: 酸棗仁湯、加味帰脾湯

雑誌名: 漢方と最新治療 1巻 1992年 2号 頁 通算 141頁

報告: 治験例 標的器官: 脳・神経系
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: ①Benzodiazepine系睡眠薬の分類②不眠症に対する1)漢方薬 2)酸棗仁湯の効果 3)加味帰脾湯の効果③漢方薬の薬理作用及び睡眠ポリグラフ研究

不眠症に対する加味帰脾湯 (TJ-137) の効果

大原 健士郎

生薬:
成分:
処方: 加味帰脾湯

雑誌名: 臨床と研究 69巻 1992年 10号 245頁 通算3285頁

報告: 治験例 標的器官: 脳・神経系
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: ①対象: 不眠症患者59例 期間: 2-20週間②結果: 改善以上-54.2%、
症状では寝付き・中途覚醒の改善度が高かった③副作用: 6例 (臨床検
査値の異常4例、口渴・眠気1例、頭痛1例) ④加味帰脾湯はbenzodiazep
ineと同等の効果を有し、抑うつ感を伴う者に有効であると示唆された

漢方治療で角膜障害の改善を認めたシェーグレン症候群の一例

黒瀬 真一

生薬:
成分:
処方: 加味帰脾湯

雑誌名: 現代東洋医学 13巻 1992年 ***号 343頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 筋・感覚器系
剤形: 煎剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬:

内容: 症例報告: シェーグレン症候群[41歳、女]①加味帰脾湯を中心とした漢方治
療を試み著明な眼症状の変化を含む全身状態の改善を認めた②漢方治療
による全身的な改善に伴い眼局所の状態も改善された事も示唆された
参照: 難病、難症の漢方治療第5集 (臨時増刊号)

更年期不定愁訴症候群に対する加味帰脾湯の使用経験

山本 伸一

生薬:
成分:
処方: 加味帰脾湯

雑誌名: 現代医療学 7巻 1992年 3号 88頁 通算 頁

報告: 治験例 標的器官: 脳・神経系
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: ①対象: 更年期不定愁訴患者33例②結果: 1)有効-78.9%であった2)エ
ストロジエン併用の有無は無関係であった

老年期痴呆へのツムラ当帰芍薬散合加味帰脾湯の効果

張 振中

生薬:
成分:
処方: 当帰芍薬散合加味帰脾湯 (それぞれ7.5g投与)

雑誌名: 臨床と研究 70巻 1993年 7号 309頁 通算 349頁

報告: 治験例 標的器官: 脳・神経系
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 15.00g/day

併用薬:

内容: ①対象: 老年期痴呆患者20例 期間: 12週間②結果: 中等度以上の改善
を示した症例はなかったが、軽度改善-41.2%、症状の進行停止-41.2%
を認めた③副作用: 3例 (幻覚出現2例、下痢1例) ※幻覚については脳
循環代謝改善薬を複数使用している為、本剤との因果関係を特定せ

加味帰脾湯が奏功した単極性うつ病

松橋 俊夫

生薬：
成分：
処方：加味帰脾湯

雑誌名： 卷 1989年 212号 31頁 通算 279頁

報告：治験例 標的器官：脳・神経系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：症例報告：単極性鬱病[1949生,男]気虚、脾虚が認められる患者に桂枝加竜骨牡蛎湯から加味帰脾湯に変方し、投与したところ奏功した
参照：「新薬と臨床」Vol126, No4

マウスにおける加味逍遥散および加味帰脾湯のWheel-Running Activityに及ぼす効果

伊藤 忠信

生薬：
成分：
処方：加味逍遥散、加味帰脾湯

雑誌名：基礎と臨床 19巻 1985年 3号 191頁 通算1461頁

報告：実験 標的器官：筋・感覚器系
剤形：エキス剤 投与経路：動物非経口 投与量：40.00mg/kg

併用薬：chlorpromazine[CPZ],methamphetamine[MAM],pentobarbital[PB]

内容：実験結果より加味逍遥散と加味帰脾湯は正常状態の動物に対しては自発運動を促進するが、動物の身体的機能的状態のいかんによっては作用効果が異なる可能性が示唆された。

加味帰脾湯が有効であった真性赤血球増加症の1治験例

杉山 貢

生薬：
成分：
処方：加味帰脾湯

雑誌名：現代東洋医学 13巻 1992年 ***号 165頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：血液
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：7.50g/day

併用薬：

内容：症例報告：真性赤血球増加症[67歳、男]上腸間膜静脈血栓症で発症した真性赤血球増加症に加味帰脾湯を用いた結果、自覚症状が著しく改善し定期的な瀉血が必要なくなるほどの有効性が認められた。
参照：難病、難症の漢方治療第5集(臨時増刊号)

更年期障害時の不定愁訴に対する加味帰脾湯の臨床効果(II)

千村 哲朗

生薬：
成分：
処方：加味帰脾湯

雑誌名：診療と新薬 29巻 1992年 3号 145頁 通算 697頁

報告：治験例 標的器官：内分泌・代謝系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：7.50g/day

併用薬：カルナグリン

内容：加味帰脾湯とカルナグリンの併用効果を検討した①対象：更年期症状を訴えた30例 期間：2週間以上の連続投与②総合評価：眩暈などで有意な改善が認められ中等度改善以上は66.7% (加味帰脾湯単独投与では56%)であった③副作用：軽度な嘔気・眩暈が1例に認められた

「返品」：副作用情報 173

生薬：
成分：
処方：加味帰脾湯

雑誌名：東医研データ 巻 1992年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：心臓・循環器系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：心気症[T15.2.20、女]：上記処方後、頭痛発現。
その後、竹茹温胆湯に変更となった。(丁)

ITPと漢方

生薬：
成分：
処方：加味帰脾湯

雑誌名：漢方医学 15巻 1991年 12号 1頁 通算 391頁

報告：治験例 標的器官：血液
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：7.50g/day

併用薬：

内容：①ITPの標準的な治療法②治療法に困る難治性ITP③文献的にみるITPへの漢方薬使用例④各種の治療に抵抗性の慢性ITPに漢方薬投与 治験報告；15例中3例に加味帰脾湯で血小板の増加が認められた⑤作用機序としては生薬のステロイドホルモン類似作用の関与が考えられた

「返品」：副作用情報 3

生薬：
成分：
処方：加味帰脾湯

雑誌名：東医研データ 巻 1989年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：泌尿器・生殖器・肛門
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：月経不順、不妊[S36.9.1、女]：上記処方服用後、頭痛、嘔吐を認める
加味逍遙散に変更後さらに悪化、そこで 帰膠艾湯加乾姜1にしたところ頭痛はおさまり、症状もやや安定した。(山口)

特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) の漢方治療

-中山 志郎-

生薬：
成分：
処方：補中益気湯、柴苓湯、人参養栄湯、加味帰脾湯

雑誌名：現代東洋医学 12巻 1991年 ***号 160頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：血液
剤形： 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：プレドニゾン

内容：①対象：ITP患者40例 期間：2ヶ月以上②結果：上記処方による漢方治療を試みた結果、12例に効果が認められた。又この内の8例の効果は6ヶ月以上持続した。
参照：難病、難症の漢方治療第4集（臨時増刊号）

更年期障害時の不定愁訴に対する加味帰脾湯の臨床効果

千村 哲朗

生薬:

成分:

処方: 加味帰脾湯

雑誌名: 診療と新薬 27巻 1990年 11号 18頁 通算2022頁

報告: 治験例 標的器官: 内分泌・代謝系

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬: マイナートランキライザー

内容: ①対象: 更年期症状を訴えた49例 期間: 2週間以上の連続投与②総合評価: 加味帰脾湯単独投与症例-全般改善度76.7% 有用率76.7%、マイナートランキライザー併用投与例-改善度79.6% 有用率77.6%であった③副作用: 軽度の下腹部痛を1例に認めた

特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) に対するTJ-137ツムラ加味帰脾湯の多施設臨床評価

櫻川 信夫

生薬:

成分:

処方: 加味帰脾湯

雑誌名: 臨床と研究 70巻 1993年 11号 345頁 通算3711頁

報告: 治験例 標的器官: 感染・免疫系

剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: ①慢性ITP患者188例を対象に加味帰脾湯の血小板増加効果、臨床効果、安全性に関する検討を行った②投与期間: 24週間③結果: 血小板増加効果31.7%、臨床効果40.9%の治療効果を示した④副作用: 13例に認められた。(消化器症状56.3%、肝機能障害18.8%で一過性であった)